

1 日 時；平成30年7月2日（月）15：15～16：45

2 場 所；本校会議室

3 出会者；学校関係者評価委員兼学校活性化委員 6名，本校職員 18名

4 内容

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ・・・本校の特色を生かしきれているのか？不登校，通級
- (3) 委員自己紹介
- (4) 本年度学校経営方針
- (5) 学校概況説明と本年度の目標（各課程15分ずつ）
- (6) 学校評価アンケート結果報告（通信制）
- (7) 質疑・意見交換
- (8) 閉会の言葉

5 学校経営方針及び各課程の概況説明等

- ・ 本校は、多様な生徒を受け入れ、その受け入れた生徒に自信と自己肯定感を持たせ、社会人として自立できるように支援するという使命がある。その使命を果たすために、基礎学力を確実に定着させ向上させること、基本的な生活習慣を身につけさせ規範意識を持たせること、自己の在り方や生き方を考えさせ将来の目標を持たせることを方策の柱として取り組んでいきたい。（校長学校経営方針）
- ・ 重点目標として、学習指導、生徒指導、進路指導・キャリア教育、その他、資料に記載してある。
- ・ 各課程概況報告及び各課程・各部の今年度の重点目標及び具体的な取組
基礎学力の定着と単位修得率の向上，開陽マナーの遵守，進路意識の高揚，心と体の健康教育推進，学習支援と地区説明会の充実，教育相談や「聞き合う会」の充実，進路情報等の適確な提供など
- ・ 学校活性化へ向けた取組…各課程の重点目標を詳しく記載
- ・ 「通級による指導」の概要…本校では「夢・活動」と呼称し，自立活動という授業を実施，本年度前期に2名受講，11/16(金)に本校で開催予定の特別支援教育に係る講演会のときに「夢・活動」の報告会も実施する予定。（義務教育課特別支援室主催）

6 協議

- ・ 様々なチャンネル（テレビ・新聞等）で本校がアピールされていて，嬉しい。
- ・ 不登校の生徒の保護者は直接学校に行き話を聞くということが一般的なケースであるが，まずは文化祭などに参加して学校の雰囲気を経験するのもいい。カリキュラム等，学校案内がされているとさらに良いと思う。
→ 学校見学や直接学校の説明を聞きたいという生徒・保護者の相談は年々増加している。また，今年度に入って7月までに研修視察等で来校した団体は以下のとおり。郡山中学校自然学園分教室の生徒・職員，入来中学校3年生徒・職員，鹿児島市民生委員児童委員協議会児童福祉部会，枕崎市民生委員児童委員協議会，始良市教育委員会学校教育課適応指導教室職員

- ・ 発達障がいと思われる生徒も頑張っているが、就職支援について、進路先決定までのノウハウを蓄積してほしい。他校でも使えるようにしてほしい。
- ・ 発達障がいと思われる生徒の就職支援について
 全日制…出来ないこと・出来ることシートの活用，就労支援関係の情報提供
 精神保健福祉士と事業者さんと繋がること，車いすの生徒の進学先についての配慮
 定時制…そこまでしていない。手帳を持っている生徒が昨年2名いた。細やかな配慮はしている。
 通信制…相談があれば外部機関へつなぐ。推薦受験の際の配慮等は行っている。
- ・ ユニバーサルデザインの教育が昨今言われているが，具体的な方策というよりはスローガンと考えた方が良い。情報を耳・目など多くの入力方法を利用することにより，困り感のある子どもだけでなく，他の生徒の学力も向上する。
- ・ いじめの対策は，「いじめがある」という前提・視点で点検していただきたい。認知0がいいのではなく，早期に発見して，解決していただきたい。
- ・ 「学校楽しい〜と」を活用することで，いじめの発見だけでなく，学校への適応感までわかる。全日制は先週実施。定時制は実施していないが，いじめのアンケートは実施。通信制は，そのままでは利用できないので，アンケートを工夫して実施。
- ・ 声かけ事案の通報が増加している。刃物を持っていたというものもあり。早朝の慈眼寺駅・谷山中央などで公然わいせつの事案もある。
- ・ SNSなどで被害に遭う生徒も増えている。フィルタリングについても保護者に伝えてほしい。
- ・ 地域として，開陽高校への理解が足りないと思った。年齢構成や授業時間など。
- ・ 西谷山夏祭りに生徒会が屋台を出していただいて，地域とふれあう機会が出来た。9時閉会で，8時過ぎから生徒さんが自発的に声をかけて，他の在庫品を販売してくれるのがありがたい。今年も8月4日実施。昨年の舞台背景は美術部に提供していただいた。夏祭り終了前に，補導に来ていただけると助かる。
- ・ 特別支援教育とは何か？対象は，どういう生徒なのか，分からない。
- ・ 文化祭には，多くのPTAに参加していただいた。「交流の部屋」では，通級についての問い合わせが多かった。
- ・ 定員割れの話があったが，個人塾などに私立（クラークなど）はパンフレットを置いていく（郵送でもいい）が，公立は出来ないのか？地方ではしているので，今後検討。
- ・ 小中学校で不登校や特別支援が増えていると聞くが，子どもは小さい頃からの環境が大きく影響する。学校に行きたくても行けないが，社会に出るには高卒がほしいと思っている生徒にとって，開陽高校の存在はありがたいし，特に，通信制の役割は大きい。
- ・ 目に余るような事件が増えているのは，何でだろう？と思ったとき，やはり親の予備軍である子どもたちへの教育が大切なのだと思う。今まで以上に頑張っただけだと，開陽の意義がある。
- ・ 「聞き合う会」では，前籍校での（子どもに対する対応の）不満を口にする保護者もいる。保護者と前籍校職員の思いのずれを感じる。
- ・ 保護者と連絡を取りたくても取れない，子どもを学校に預けっぱなし，保護者会へ参加しないといった家庭の生徒もいる。どこへも頼れない生徒をどう支援するかが課題である。
- ・ 前籍校の教員から「開陽通信へ逃げるという選択はしなくてもいいのではないか？」と言われた生徒もいる。本人は「新しい選択枝」として開陽高校を選んでいるのに，生徒への理解に乏しいと思われる教員がいるのは残念だ。